

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 富山国際大学附属高等学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒 930 - 0175
富山県富山市願海寺水口 444
 E-mail : info@tuins-h.ed.jp
 Website : www.tuins-h.ed.jp
 児童生徒数：男子 397 名 女子 449 名 合計 846 名
 児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

地球規模の問題に対する国連システムの理解

- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- その他 ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

①国際理解分野

ア. 国際理解講座

公開講座として全校生徒・保護者に開放。

イ. 国際英語コース授業

国際英語コースは多国籍生徒のクラスで、英語を共通語として国際理解の観点からの授業がスムーズに実践できる。

②世界遺産分野

ア. 授業内実践

国際英語コース1年生の授業。テーマは「温故知新」で、過去の人類の遺産を現代の諸問題解決のヒントとしてとらえることができるよう指導した。

イ. フィールドワーク

2年生の冬季休暇中に研修旅行を実践。今年度は設定した全てのコースで世界遺産の現地調査を実施した。テーマは「現地でしかわからない問題点」で、地元の人やガイドからの情報を集め問題点を洗い出し、解決方法を考察した。

③「生きる力」を育む授業改善

グローバルに活躍できる生徒を育てるために、校内のみならず UNESCO ASP Network、提携大学、提携企業と連携し、「自己表現力」「多文化共生力」「企画力」の3つの要素を統合した「生きる力」を育む授業改善を推進するためのカリキュラムを各教科で作成した。

I 「自己表現力」を高めるための取り組み

◇「国語科」スピーチからディベートへ

毎回実施していたスピーチから、年5回実施している定期テストに合わせ、年5回程度学習した教材の中からテーマを設定し、ディベートを実施した。

◇「英語科」ディベート&プレゼンテーション

ペアワークで実施している Pros & Cons（賛成&反対）をグループワーク（5対5）として実施した。

また、1年生のアメリカホームステイ・韓国ドームステイ研修（アメリカで2週間ホームステイしながらの英語研修、韓国の提携大学であるソルブリッジ大学の学生寮に1週間滞在し、大学のイングリッシュ・ネイティブの教員による計25時間のディベート実習及び、アジア各国からの大学生との交流）で、アメリカと韓国で研修を受ける受動的活動に加えて、積極的に富山をアピールするプレゼンテーションを実施。

◇「情報科」iPadとグーグルドライブ

国際英語コース生徒全員がiPadを購入し、各教科の学習成果や研修成果等をグーグルドライブを使い共有できるように指導した。

◇「体育」富山の伝統的ダンス（こきりこ節）

海外研修で富山の伝統的なダンス「こきりこ節」を披露できるよう授業に取り入れた。

II 「多文化共生力」を高めるための取り組み

◇「英語科」自主教材の作成

International Case Studies I、II、IIIを作成し、1年「グローバルスタディーズ」、2年「総合英語」、3年「時事英語」でそれぞれ使用。ケース

スタディーを通して、国際関係や国際経済を具体的に学習させた。

◇「家庭科」 英語科と共同で各国料理

家庭科と英語科が共同で、本校の外国籍生徒のお国料理をつくるワンコイン料理教室（費用 500 円）を開催。具体的にはアメリカ、オーストラリア、カナダ、フィリピン、パキスタン、ロシア、ウルグアイ、中国の各種料理教室を開催した。

◇「総合的な学習の時間」 お国自慢プレゼン

上記の各国の言葉事情について、それぞれプレゼンテーションを実施し、それをまとめたものを富山県英語プレゼンテーションコンテストで披露し最優秀賞を獲得。また、外国籍生徒を一堂に集め、「国際高サミット」を開催。

Ⅲ「企画力」を高めるための取り組み

◇「英語科」 異文化圏でのデータ収集

海外で実施したプレゼンテーション終了後、事前に準備していた富山についてのアンケート調査を実施し、富山の魅力についてのデータを収集。

◇「数学科」 データ分析

収集したデータを分析できるよう、数Ⅰでデータ分析、数Ⅱの範囲の確率分布を先行して教える。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
 - 時間外活動の時間を使用
 - ユネスコクラブの活動として実施
- その他（国際理解講座、研修旅行）